

# 保健室便り



## インフルエンザ・新型コロナウイルス流行に注意 梅毒感染者が増加しています!!

No.137 2023年10月  
桃山学院大学 保健室

今年は、インフルエンザの感染報告が季節に関係なく継続していて、注意報が全国レベルで発出(9月現在)されています。新型コロナウイルス感染症は、今後も変異したウイルスの出現により、何度も感染のピークが来ることが予測されます。

これからの季節は、気温が下がり空気が乾燥するので、インフルエンザなどのウイルスは、更に流行しやすくなります。また、プール熱(咽頭結膜熱)も流行しています。基本的な感染防止対策は、引き続き心得ましょう。

### 感染予防の基本



- ハンドソープなどの洗剤を使って丁寧に手を洗いましょう!  
(トイレの後、帰宅時、飲食の前は必ず手を洗う)
- 手洗いしていない手で口元、鼻、目等の粘膜を触らない。
- 部屋の換気をする。
- 人混み等ではマスクを正しく着用することを推奨します。  
不織布のマスクをお勧めします。(マスクが必要な方は、保健室までお越しください。)
- バランスの良い食事を心がけて、朝食を抜かない。
- 睡眠をとり、疲れを翌日まで残さない。
- インフルエンザの予防には、基本的な感染予防とワクチン接種が有効です!

### 梅毒感染者数過去最多ペース上回る!(2023年上半期)

梅毒トレポネーマという細菌に感染することで発症します。主な感染経路は性行為により、感染者と皮膚や粘膜が接触することで感染し、数時間でリンパ節に達し、そこから血液を巡って全身に広がっていきます。時間の経過と共に症状が全身に現れるようになります。

※梅毒は自然に治ることはありません。体内に潜み全身を蝕みます。薬による治療が可能です。第1期のような症状があれば病院を受診し早期治療することが大切です。

#### 症状

潜伏期 0~3週間	感染している人との粘膜や傷がある皮膚との接触
第1期 3週~	性器・肛門・口に3mm~数センチのコリコリした硬いできものや潰瘍が出来るが、痛みもなく1ヶ月程度で消失する
第2期 3ヶ月~	手のひら、足裏、体に痒みも痛みもない赤い発疹が出るが数週間から半年程度で自然に消滅する
第3期 3年~	全身に炎症が進行し、皮膚や筋肉、内臓にゴム腫が出来る
第4期 10年~	末期症状で、全身の臓器の神経が侵され脳や心臓に病変が出る



不安なことや、わからないことがあれば保健室までご相談ください。  
保健室窓口時間:9:10~16:40(月~金)  
TEL0725-92-7614(直通)  
メール:hoken@andrew.ac.jp